

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幼児グループにじのこ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 26日		～ 2025年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 26日		～ 2025年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な職員配置をしている。	マンツーマン対応の必要な重度のお子さんも地域で必要な支援が受け入れられるよう十分な職員体制を組んでいる。	様々なお子さんへの対応を充実させるために、さらに研修等の機会を充実させていく。
2	専用の広い庭があり、のびのびと体を動かすことができる。	メインのプログラムに外遊びを取り入れることもあるが、メインプログラムが室内の課題の場合にも、自由遊び時間に庭に出て十分に体を動かすことができるようにしている。	庭の遊具や遊びの内容を充実させさらに楽しい遊び場としていきたい。
3	月1回の理学療法士、音楽療法士、2か月に1回の言語聴覚士の講師の技術支援を受け、利用者への直接支援の充実とともに、職員のスキルアップを図ることができている。	職員が毎回その日の利用者の姿についての具体的な質問をすることで、より具体的な技術指導を受けることができている。	毎回大変勉強になっているが、担当以外の職員に対して十分な伝達できていない面もあるため、勉強会等により、全職員のスキルアップにつなげていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修や事務、他機関訪問等の時間が十分に取れていない。	直接支援を最優先に充実させていること、また記録も丁寧にとっていることでその他の時間がとれない。	業務内容や分担の見直し、また記録のスキルアップや様々な様式の見直しが必要。また、研修については年度末の忙しい時期に集中しないように、計画的に配分していくことが必要。
2	施設の衛生は心がけているが、備品等の老朽化が気になるとの回答があった。	賃貸のため取り外しが効くように、衝突防止等のクッションやマット等、施設中のあらゆる場所に養生テープを多用して貼り付けているため、見た目がよくないのではないか。	クッションの色や高さ、つけ方を統一する等の工夫をしていく。また、床マット等については張替をしていく。
3	避難訓練の回数が以前より少なくなった。	安全計画の回数は行ったが、都度の業務に追われ以前より回数が減ってしまった。	必要に応じ安全計画を見直ししながら、計画的に様々な訓練を行っていく。